



個人参加 動く市政教室 「ともに学ぶ福祉(江南区編)」

実施日:令和4年5月26日(木)

様々な障がい福祉サービス事業所を見学し、障がいの程度に合わせた活動内容を学びます。

時間	分	見学施設	所在地
13:10		① 市役所本館正面ロータリー 出発	
↓			
13:30		② 新潟駅南口貸切バス乗り場 出発	
↓			
13:50~14:30	40	わかばの家(生活介護・就労継続支援B型) ※わかばの家のみ2グループに分かれて見学	江南区亀田向陽
↓			
14:40~15:10	30	メイプル・かめだ(就労移行支援・就労継続支援B型・ 生活訓練) 本館のみ見学	江南区亀田向陽
↓			
15:15~15:40	25	ちいさなほし(就労継続支援B型)	江南区亀田向陽
↓			
16:00		解散:新潟駅南口→市役所の順	

	応募数	参加数
5月26日	14	11

参加者からの主な意見・感想

全体を通しての意見・感想

- ・ 一生懸命に働いていて、働く喜びを得て、生き生きと生活している様子を見て感動した。
- ・ 以前から興味を持っていた障がい者通所施設を、見学でき、うれしく思う。
- ・ 事業所で作られたお菓子や商品を購入することはあったが、実際にどのようなところで作業されているのか見たことがなかったので、とても勉強になった。
- ・ 福祉事業所などは関係者でもなければ、なかなか見学もできないので、またとない機会だと思った。またこのコロナ禍の中で案内してくれた事業所の方々にお礼を言いたい。
- ・ 初めての施設見学、一生懸命・真剣な眼差しで、しかも根気のいる作業をやっている姿に感銘。そして、その施設で人一倍の苦勞・手間などを要する監督・指導を担っている職員の明るさにも感銘した。
- ・ 職員の心配りが良い

各施設の意見・感想

【わかばの家】

- ・ 利用者の皆さんが、慣れた様子で安心して過ごしているのが感じ取れた。大きな法人だと法人内でも、いろいろと仕事があってよいなあ~と思った。
- ・ 手作業は、根気がなければできないのに、頑張っていると思った。
- ・ 就労者の実務に触れられて良かった。皆さん頑張っていると思った。
- ・ いろいろな作業を細かく分けて（各部屋もあり）人数も多いと思った。
- ・ 個性にあった対応の仕方をしていることは知らなかった。部屋を区切ったりする工夫は、見学して初めて分かったことだ。若者の働く姿に感動した。
- ・ 生活介護B型の違いを感じることができた。参考書などで勉強しても、どう違うのか、もやもやしていた。見学することで、感じる事ができ、とても勉強になった。作業の内容を写真で伝えることや、個々に応じて作業空間を整えているところがとても印象的だった。

【メイプル亀田】

- ・ お弁当の数、配送ルートなどを聞いたが、規模が大きく驚いた。職員の方々と仕事分担など生の仕事現場を見学したくなった。おいしそうだったので、ぜひ開店中に訪ねたいと思った。
- ・ 施設中の清掃、調理実習、自宅ではやらない仕事をしているのが分かった。
- ・ 建物が立派で大きいと思った。
- ・ ビビンバが人気弁当で、たくさんの注文があるのに驚いた。
- ・ もう少し、一人一人の賃金が上がるような、体制になると、いいのにと考えた。
- ・ 就労移行支援の説明が、とても分かりやすかった。同じB型サービスでも、作業内容の違いや、工賃の違いは勉強になった。

【ちいさなほし】

- ・ 以前から興味を持っていた。やりがいを感じて、仕事している姿を、見に行きたいと思った。職員にパン作りや米粉使いに詳しい専門家がいるのだと思うが、商品の幅広さにも感心した。
- ・ お米のグラノーラバーがおいしかった。
- ・ 米粉でパン・ビスケットを作り販売していることが分かった。

※いただいたご意見等は、広聴相談課でまとめて各見学施設や関係課・者へ伝えます。